

東京江東ロータリークラブ

2024~2025年度 テーマ

ロータリーのマジック

RI 会長 ステファニー A. アーチック
地区ガバナー 石川 彌八郎

ROTARY PRIDE

～再発見・新発見～
クラブ会長 大澤 栄一

今日の卓話

東京ベイロータリークラブ合同例会

高井 洸烈氏

「もっと叱ってほしい学生の本音」

次回例会案内

姜友顕君「RYLA セミナー報告」

大澤会長「創立記念日に寄せて」

No. **26**

第2932例会
2025年3月13日号

E-mail: koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

3/11 会員数 20 名中
11 名 出席率 57.89%
【訂正出席率】2/17 80%



会長・幹事報告

- 5日(水)クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)【損保会館】☆末次会長エレクト
- 8日(土)青少年交換学生 茶道稽古【今日庵東京道場】☆エードラさん
- 11日(火)理事会・例会【卓話者】市川慎次郎氏(東京臨海南ロータリークラブ在籍)株式会社中央シャッター・株式会社横引シャッター株式会社サンオウ・株式会社中央クレジットリース代表取締役【演題】続・『泥水すすってでも生き残れ!~売上の2億、借金9億の暗黒時代からの復活~』
- 12日(水)多摩分区インターシティーミーティング【エミシア立川】☆鈴木会員
- 13日(木)地区危機管理委員会【ガバナー事務所】☆大澤会長
- 東京ベイロータリークラブ合同例会【ロイヤルパークホテル】18時から~【卓話】高井洸烈(たかいこうれつ)氏 東京理科大学大学院修士2年、一般社団法人カナラボ 代表理事、かつしかFM 学生ナビゲーター【演題】「もっと叱ってほしい学生の本音」
- 18日(火)特別休会
- 19日(水)地区チームラーニングセミナー【損保会館】☆次年度地区役員☆大澤会員・堀会員

ニコニコボックス



大澤会長:市川さん、忙しいのにありがとうございます!楽しみにしています!
堀幹事:市川さん今日は、よろしくお願ひします。
伊藤(三)君:市川さん、今日の卓話楽しみにしております。
青木君:お忙しい中、市川さん、ありがとうございます。
小嶋君:市川さんつづき宜しく!
末次君:市川様、卓話楽しみにしています!
大島君:東日本大震災から、今日で14年時の流れは早いですが、忘れてはいけませんね。
伊藤(海)君:市川さん、本日はありがとうございます。
大屋君:市川様、楽しいお話し楽しみにしています。
野村君:花粉にやられてますが、頑張りましょう。

合計 48,000 円
累計 1,319,000 円

<委員会報告・その他>

次回例会は、3月25日(火)(昼例会)となっております。

※欠席される方は、例会前日の12時まで、事務局までお知らせください。



2025年3月のロータリーレポート【1ドル150円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

- 例会場/東京都江東区東陽6-33 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5683)5683 ●例会日/毎週火曜日12時30分~13時30分
- 事務局/東京都江東区東陽6-33 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5632)3777 FAX:03(5632)3737



市川 慎次郎氏

続・『泥水すすってでも生き残れ！』

～売上2億、借金9億の暗黒時代からの復活～



今年の1月14日の卓話に引き続き、今回もまた貴重なご機会を頂戴し、本当にありがとうございます。東京臨海南RC所属、(株)横引シャッターの市川です。前は気合を入れ過ぎたせいか、ボリューム満載の資料を作成してしまい、また当日は自分自身が盛り上がりすぎてしまったせいで、卓話時間内にお話が終わることができず、大変申し訳ございませんでした。そんな中、大澤会長、堀幹事より嬉しいお気遣いを頂き、今回リベンジ卓話をさせて頂く機会を頂戴致しました。本当に感謝しております。

今回は、前回の失敗を反省し、余計なところは省き、少しでも皆様に有益な参考資料として何か一つでもお持ち帰れる様、お話をさせて頂きます。

売上2億円程度で借金が9億円あり、6年間で7億円の借金を返済していた当時は『異常が正常』と勘違いしている暗黒時代でしたので、スタイリッシュでカッコよく、大人の会話よりも愚直で真面目、熱意だけある愚直な若者に見える様、律していました。

日本人がなんとなく持っている『腹切りの美学』は美しくない！また何が何でも諦めずに『どうしたらできるのか？』だけを考え、素人ながら一心不乱に進んでいた時代です。『名誉を取るか、時間を取るか』の大事以外全て小事と考え、ギリギリの綱渡りを渡り切った事や『ハンコとボタンは押されたら変えられない。押される前に動け！』と自分自身を鼓舞しながら、進み続けました。そんな私を見て、社内では私以外全て敵だった社員たちも一人、また一人と協力してくれる者が現れ『来るものは拒まず』『恩は武器になる』と学び、みんなで協力し合うことで、最終的には6年間で7億円もの借金を返済することができました。当時は決して裕福で余裕ある会社経営ではありませんでしたが、苦し

い、大変よりも、一つひとつを返済できていくのが楽しかったと振り返ります。

また借金返済中に当時超ワンマン経営だったので『社長もナマモノ。万一の事があったら会社は潰れてしまう』と危惧し、事業承継でも動いていた時期でもありました。

この会社は『自分が生まれる前から有る会社』であり、親子であっても社長と社員の関係、『バトンは渡し手が決める』『見える景色の違いを理解する』そして『いつまで経っても親子』の関係であり社長は人生を掛けて創り上げてきた会社であると思いつつ、事業承継を学んでいきました。

会社もやっと良い方向への軌道にのり、『これからは借金返済だけでなく、上手にお金を使える様に学んでいかなければならない！』と話をしていた2011年。1月に旧日本社が全焼してしまう火事が起きてしまい、1000年に一度の大災害の3.11東日本大震災が起き、年末の12月26日には、創業者でもある先代社長の急逝と明るい未来が一気に見えなくなってしまいました。

それに乗じて、身内と一部の社員たちがまだ負債が残っている我が社を計画倒産して、新しい会社を立ち上げる画策が起き、先代社長が創り上げた会社を残す私との戦いが勃発しました。

この史上最大の混乱期の中で、私自身一度会社から追い出されたり、毎日混乱、毎日問題発生しかなかく、臨時株主総会で私が代表として戻ってきました。とは言え、約3ヶ月不在だった会社は荒れ果て、計画倒産を画策していた者たちに機械とデータは壊され、道具と材料とお金は持ち逃げされ、業界には『倒産する』と流布され、86名居た会社から11名のリスタートを余儀なくされました。

出口の見えないトンネルの中で、薄氷でできた綱の上で綱渡りをする日々で、ノイローゼになりながらも、数少ない仲間たちと一緒に一つひとつを積み上げて、奇跡の復活を成し遂げ『史上最大の混乱期』を乗り越える事ができました。誰から見てもカッコよい姿ではなく、泥臭い生き方だとは思いますが、当時の我々にはそれ以外選択する道はなく、唯一見えるかすかな光に向かって進むことができたのは、親でもあり、創業者でもある先代社長が私が生まれた時からずっと教え育ててくれたお陰だと思っており、今度は自分が恩送りをする番だと、これからの未来に向けて一昨年より『30年超長期計画』を掲げ、社員たちと楽しく明るい未来を掴み取る為に全力で進んでおります。